

市町村における生物多様性に係る条例の制定状況

県自然保護課調査(平成18年10月)

市町村名	制定・検討なし	検討中	済	条例名等
千葉市		○		千葉県の変向を見て検討する予定
銚子市	○			
市川市			○	<p>・市川市宅地における雨水の地下への浸透及び有効利用の推進に関する条例、施行規則 (H17.3.30に条例が制定され、H17.7.1から施行。)</p> <p>この条例は、宅地(特に台地上に立地)における雨水の地下への浸透及び有効利用の推進を図り、地下水の涵養による良好な水循環の保全、雨水の河川への急激な流出抑制及び水資源の有効利用によって、総合治水対策ばかりでなく、かつてあった湧水の再生や平常時の河川の維持水量の増加を期待し、湧水、谷津や湿地、河川など地域の水辺全般における生物生息場所の確保、生物多様性の保全を目指すものである。</p> <p>・生物多様性に係る条例の制定に関しては、条例内容等は未定であるが、平成18年3月に策定した市川市自然環境保全再生指針において、国等の法制化の動きや、市民意識の高まりを的確に把握し、将来的に「条例化も視野に入れた対応」を行うこととしている。</p>
船橋市	○			
館山市	○			
木更津市	○			
松戸市	○			
野田市		○		<p>名称:野田市貴重な野生動植物の保護のための樹林地の保全に関する条例 概要:貴重な野生動植物の生息地又は生育地としての樹林地を保全するとともに、自然に恵まれた都市環境の形成を図り、もって現在及び将来の市民の健康で文化的な生活の確保を図る。 ※平成18年12月議会で決定の見込み</p>
茂原市	○			
成田市	○			
佐倉市	○			
東金市	○			
旭市	○			
習志野市	○			
柏市	○			
勝浦市	○			
市原市	○			
流山市	○			
八千代市	○			
我孫子市	○			
鴨川市	○			
鎌ヶ谷市	○			
君津市	○			
富津市	○			
浦安市	○			
四街道市	○			
袖ヶ浦市	○			
八街市	○			
印西市	○			
白井市	○			
富里市	○			
南房総市	○			
匝瑳市	○			
香取市	○			
山武市	○			
いすみ市	○			

市町村名	調査・研究	資料・情報	計画・指針等の策定	具体的な事業	普及・教育・啓発	その他施策
野田市	名称：自然環境保護対策基本計画(平成16年3月、平成18年3月修正) 概要：野田市江川地区の江戸川流域には、絶滅の恐れのある野生動物植物の生息地が数多くあり、そのうち、オオカササギやササガなどの貴重な鳥類や、ミズウミガサエビなどの水生生物の生息地が数多くあり、これらの自然環境の保全の必要性を認識し、自然共生地帯づくりの推進を図る必要がある。当地区に生息する貴重な野生動物植物や、絶滅の恐れのある野生動物植物の生息地を保全し、さらに持続的に活用するための具体的な方法を自然環境や動物植物に精通した方々で構成された「自然環境保護対策検討会」を策定し、なお、その後の社会情勢の変化を受けて、「自然環境保護対策検討会」の意見を踏まえ、基本計画の見直しを行いました。	名称：市民の森保存・ふるさとの名木・古木の保存 根拠：野田市緑地保存に関する実施要綱(昭和59年3月31日) 概要：市民の森指定 8箇所 3.1 35m、名木・古木の指定 27本 ケヤキ、クス、スギ等 名称 自然環境保護対策基本計画 概要(調査・研究のとおり)	名称：自然環境保護対策基本計画(調査・研究のとおり)	県内森林地帯の指定、野田市貴重な野生動物植物の保護のための樹木林地の保全に関する条例の制定。(検討中)	啓発：国土施策創発調査及び江川地区のジオトープ整備について市報等に掲載	名称：国土施策創発調査「自然環境と調和した美しい地域空間実現方策調査」 概要：現在調査実施中。18年度事業 今回採択となった「国土施策創発調査」(美しい国土の形成を目指す)は、流域連携による自然環境と調和した地域空間実現方策調査(国土計画)が、国土交通省(国土計画局)が国側の幹事となり実施するもので、国と地方の連携及びジオトープ的な手法による国土の利用、開発及び保全に関する政策の推進のために行う全額国費負担の単年度事業 緊急性や必要性をはじめ、調査結果として予測される施策を先駆的に使った地域で行うことや、調査その地域で行うこと、意義、実効性が高いことなど、いろいろな観点で検討された。
茂原市	ヒマンセミの発生状況調査			ミヤコタナゴ保護協議会による、ミヤコタナゴ生息地での保護活動、ヒマンセミ発生地の環境整備と保護活動	平成15年度にヒマンセミの観察会を実施した。	野田市からは「自然や歴史と調和した美しい地域空間実現方策調査」として、「拠点地区を中心とした利根運河流域における自然と歴史が調和した魅力的な地域空間づくりの展開」をテーマに、利根運河流域の地域資源(自然・歴史・文化など)の活用、地域空間の形成、3県(千葉県・茨城県・埼玉県)の連携、都市と田園の交通などの必要性を、国土形成計画法の施行(昨年)に施行された国土形成計画法の基本理念の趣やかな(泉北川や、利根運河への環境用水の円滑な導入などの緊急性も含めて、提案してきた。さらに、実現性として、拠点地区である江川地区では自然環境保護対策基本計画を策定し、今秋から本格的に90haのジオトープとして整備する計画があることや、近隣自治体との環境整備施策の展開などを挙げた。 ※ 利根運河ジオトープページURL(暫定版) URL: http://toneunga.web.infoseek.co.jp/sample/index/index.html
成田市	動植物生息調査 水辺調査(第1次H5~H6年度、第2次H14年度)、陸域調査(第1次H7~8年度、第2次H15年度)、総合調査(H16年度)	動植物生息調査報告書として、水辺調査本編・概要版(H7.3)、陸域調査本編・概要版(H9.3)、総合目録誌(H10.3)、第2次水辺調査本編・概要版、湧水調査野帳(H15.3)、第2次陸域調査本編・概要版(H16.3)、総合解説報告書本編・概要版(H17.3)、大柴町史自然環境調査報告書	成田市環境基本計画(H12.3)※H18・19年度で見直し		ガトフツガ作成 『成田の水辺自然観察ガイド』(H8.3)、 『成田の自然観察ガイド』(H10.3)、 『なりたの自然観察』(H17.3)、 坂田ヶ池親子自然観察会	
佐倉市	佐倉市自然環境調査	佐倉市自然環境調査報告書	佐倉市環境基本計画、佐倉市沿岸環境保全指針	佐倉城址公園ジオトープ、西門川谷連環緑保全ゾーン、上手稲川植生浄化施設、直弥公園水辺施設	冊子『佐倉市の自然』『佐倉の湧き水物語』、佐倉市水辺観察会 市内の緑地をめぐり、2月に同地生苔の動植物の自然観察会を開催。	
東金市	市内2ヶ所の生体系調査、動植物調査(年2回、市内4地点)		東金市環境基本計画(H12年度策定)			
旭市			旭市環境基本計画(策定中)			
習志野市	習志野市環境基本計画(計画)と、H19.3策定予定)を策定後、自然環境調査を実施予定。※習志野市環境基本計画策定は、習志野市環境基本条例第9条の規定による。※習志野市環境基本計画策定は、都市緑地法第4条の規定による。	習志野市自然環境調査報告書(H2.3)、環境自然保護地区自然調査事業報告書(H12.3)	習志野市環境基本計画(H19.3策定予定)、習志野市自然保護地区の指定と緑化の推進に係る条例)第6条による)	自然保護地区、都市環境保全地区の指定(習志野市自然保護地区の指定と緑化の推進に係る条例)第6条による)	自然観察会の実施、「ホタルの生息地づくりワークショップ」の開催、野鳥観察会、谷津千里カトプツァ作成、環境教育活動の実施	
柏市	自然環境調査の実施	柏の湧水、柏の自然を歩こう(H10)自然環境調査結果)	柏市環境基本計画(H15.3策定)、柏市環境配慮指針(H16.2策定)		『柏の自然を歩こう』の作成、自然観察会の開催 中央公民館での山野草教室	
勝浦市	植物現況調査(勝浦市史通史編)経集基礎資料)	『勝浦市史 通史』、『勝浦市の文化』		ミヤコタナゴの保護		
市原市	市原市自然環境調査(H2~H5)を実施し、調査報告書と「ジオトープ」自然環境調査から作成。ゴルフ場自然環境調査(H9~13)を実施。	『市原市史』、市原市指定保全地区等(樹林保全地区、保護樹木、野生動物植物保護地区)台帳、ゴルフ場希少動植物一覧	改訂市原市環境基本計画(H18)	『市原市緑の保全および推進に関する条例』等により樹林保全地区、保護樹木、野生動物植物保護地区の指定と奨励金の交付。市原市ジオトープ保全活動推進事業補助金等交付要綱』によりジオトープ保全活動団体等への補助金交付。	『巨木めぐり』、『野鳥観察会』等の自然観察会を開催。	
流山市		保存樹木台帳	環境基本計画、第1期環境行動計画	絶滅危惧種の木材が蓄積する森の主要部を県立市野谷の森公園として保全する。	環境団体主催による利根運河ワークショップ、野鳥観察会、自然観察会の実施、環境団体(市が活動費を補助)による利根運河の植物誌発行。	
八千代市	動植物の現況調査	八千代市水辺の自然環境調査報告書(2003年3月発行)、環境保全林・保存樹指定一覧	八千代市環境基本計画、緑の基本計画	ぼたの里づくり事業	カトプツァが八千代の自然を歩こう!』自然観察会として、ぼたの里観察会、自然観察会(年2回)、野草に頼る会(年2回)、野の花ワークショップ(年2回)、里山教室、昆虫学習会、野草学習会等	